

# 平成28年度決算における財政指標

## 経常収支比率

地方自治体の財政状況を判断するのに用いられる数値のひとつに経常収支比率があります。

これは毎年経常的に収入されるお金が、経常的な支出にどのくらい使われたのかを割合で示した数値です。この数値が低いと自由に使えるお金が多く、財政にゆとりがあることになります。一方、数値が高くなると使いみちが決まった支出が多く、財政状況は厳しく硬直化しているといえます。

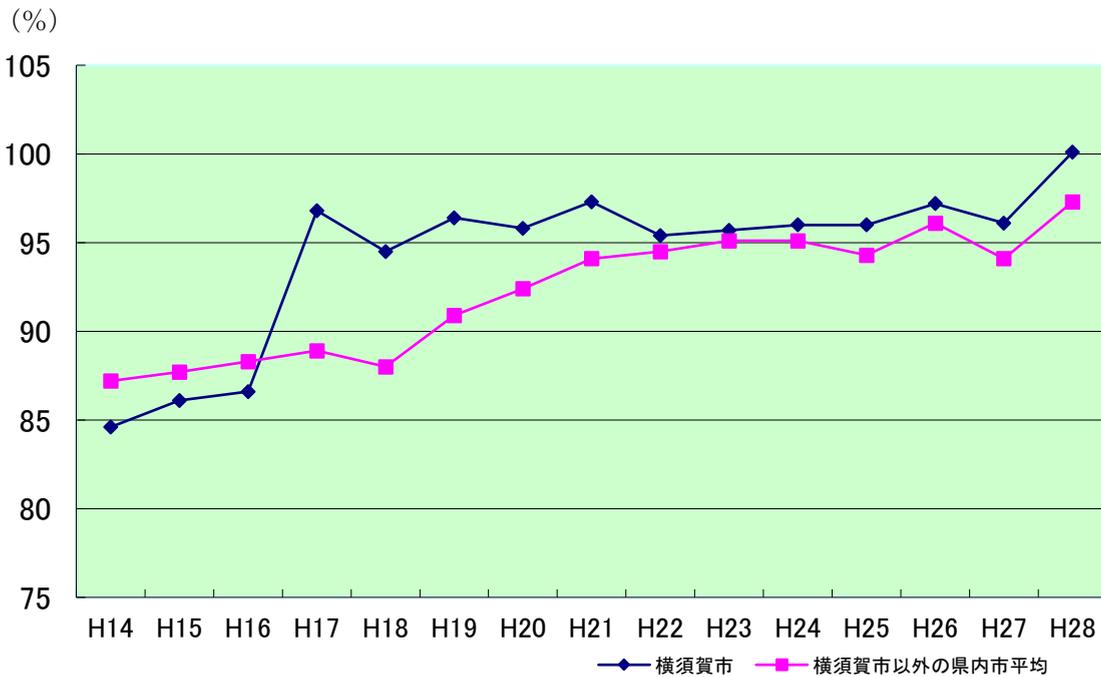
本市の平成28年度の経常収支比率は、前年度比4.0ポイント悪化し、100.1%となりました。

これは、歳出面での人件費や社会保障経費（保育園等への給付や障害福祉サービスの給付など）の増加に加え、平成28年度においては地方交付税や地方消費税交付金、法人市民税などの経常的収入が大幅に減少したことが要因です。

近年、景気の低迷や行政サービスの多様化などにより全国的に経常収支比率は高い水準で推移しています。

本市も例外ではなく、数値は上昇傾向にあります。

## 経常収支比率の推移



年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
横須賀市	84.6	86.1	86.6	96.8	94.5	96.4	95.8	97.3	95.4	95.7	96	96.0	97.2	96.1	100.1
県内市平均	87.2	87.7	88.3	88.9	88	90.9	92.4	94.1	94.5	95.1	95.1	94.3	96.1	94.1	97.3

※県内市平均は横須賀市を除く。

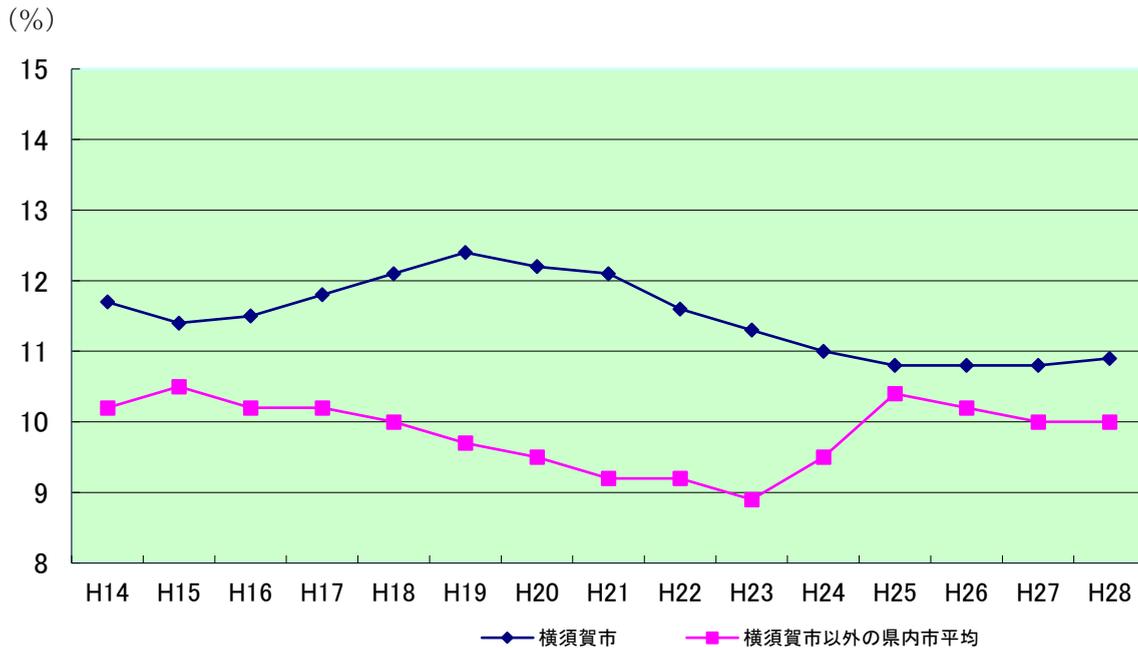
# 起債制限比率

市税収入のように自由に使うことのできる収入のうち、公債費(借入金の返済)にあてる割合を示しています。

つまり、地方自治体が自力で返済をする能力を表す指標です。

本市の起債制限比率は、県内平均を超えています。平成28年度は新たに借りる市債の額の抑制に努めたものの、臨時財政対策債の償還が増加し、起債制限比率は単年度、3ヶ年平均ともに10.9%となり、前年度より上昇しています。

## 起債制限比率の推移(3力年平均)



年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
横須賀市 (単年度)	11.4	11.3	11.7	12.2	12.3	12.7	11.7	11.9	11.2	10.9	10.9	10.7	11	10.8	10.9
横須賀市 (3力年平均)	11.7	11.4	11.5	11.8	12.1	12.4	12.2	12.1	11.6	11.3	11	10.8	10.8	10.8	10.9
県内市平均 (3力年平均)	10.2	10.5	10.2	10.2	10	9.7	9.5	9.2	9.2	8.9	9.5	10.4	10.2	10	10

※県内市平均は横須賀市を除く。

# 財政調整基金

財政調整基金は、地方公共団体の健全な財政運営を確保するために設置した積立金で、いわば地方公共団体の貯金です。経済事情の変動等による減収、災害により生じる予期せぬ支出・減収を埋めるときや、緊急性の高い大規模な建設事業の経費等に充てることとしています。

本市では平成12年度に設置し、平成28年度末残高は約114億円となっています。

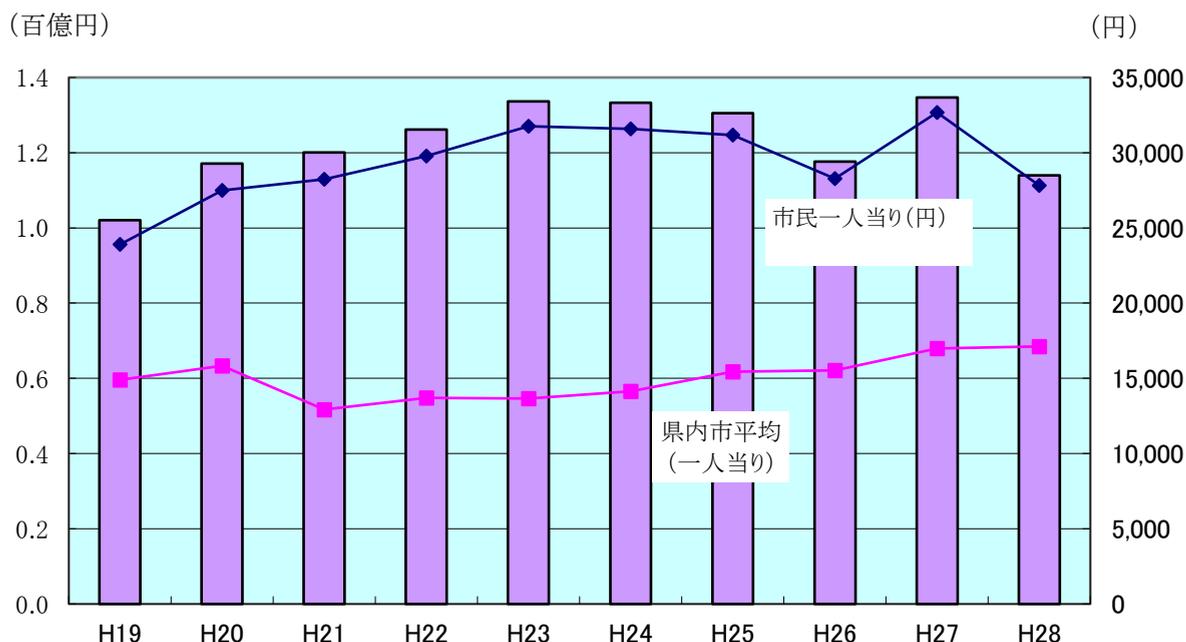
法律により前年度の実質収支については、その半分以上の額を財政調整基金に積み立てるか、市債の繰上償還の財源に充てることと定められています。本市では、平成28年度決算で生じた約32.4億円の実質収支のうち15.9億円を財政調整基金に積立てました。

本市では平成14年度以降、毎年度生じている歳入不足を補うために財政調整基金の取崩しを行っています。行政改革による人件費、公債費をはじめとする経費の抑制のほか、平成20年度以降は、未利用地の売却や時限的な給与削減措置といった臨時的な要因や、普通交付税の増加等により、基金の取り崩しを抑制できたことで残高が増加傾向にありましたが、平成24年度から減少に転じています。

平成27年度は収収の改善や、地方消費税交付金の増に伴い財政調整基金の取り崩しを行わずに財源を確保したことにより、残高が増加しましたが、平成28年度は収収や地方消費税交付金、地方交付税などが落ち込んだことにより再び基金の取り崩しを行い、残高は前年度より約20.7億円減少しています。

厳しい財政状況の中、基金の取崩しに頼らざるを得ない状況が続くと思われませんが、今後の財政運営に必要な基金残高を確保できるよう努めていきます。

## 財政調整基金残高と一人当り残高



財政調整基金残高(棒グラフ)は左軸、一人当り残高(線グラフ)は右軸で表示してあります。

※県内市平均は横須賀市を除く。